

平成24年3月期第1四半期

# 決算短信補足資料

2011年7月29日

株式会社 **JCL バイオアッセイ**

**JASDAQ**

証券コード:2190 売買単位:100株



# 2012年3月期第1四半期のポイント

1

【単体・連結】 減収・減益

2

受注は日米ともに堅調に推移

3

2011年6月、横浜オフィスを開設

4

高分子医薬品分析サービスへの取り組み



# 売上高



## Point

試験終了の遅れ等による減収

(単位:百万円)

売上高		2012年3月期第1四半期		2011年3月期第1四半期		前年同期比
		金額	構成比	金額	構成比	
国内	バイオアナリシス	170	62.1%	341	84.7%	-50.0%
	医薬品品質安定性試験	104	37.9%	61	15.3%	+69.1%
単体・合計		275	100.0%	403	100.0%	-31.8%
米国	バイオアナリシス	-	-	-	-	-
連結・合計		275	100.0%	403	100.0%	-31.8%



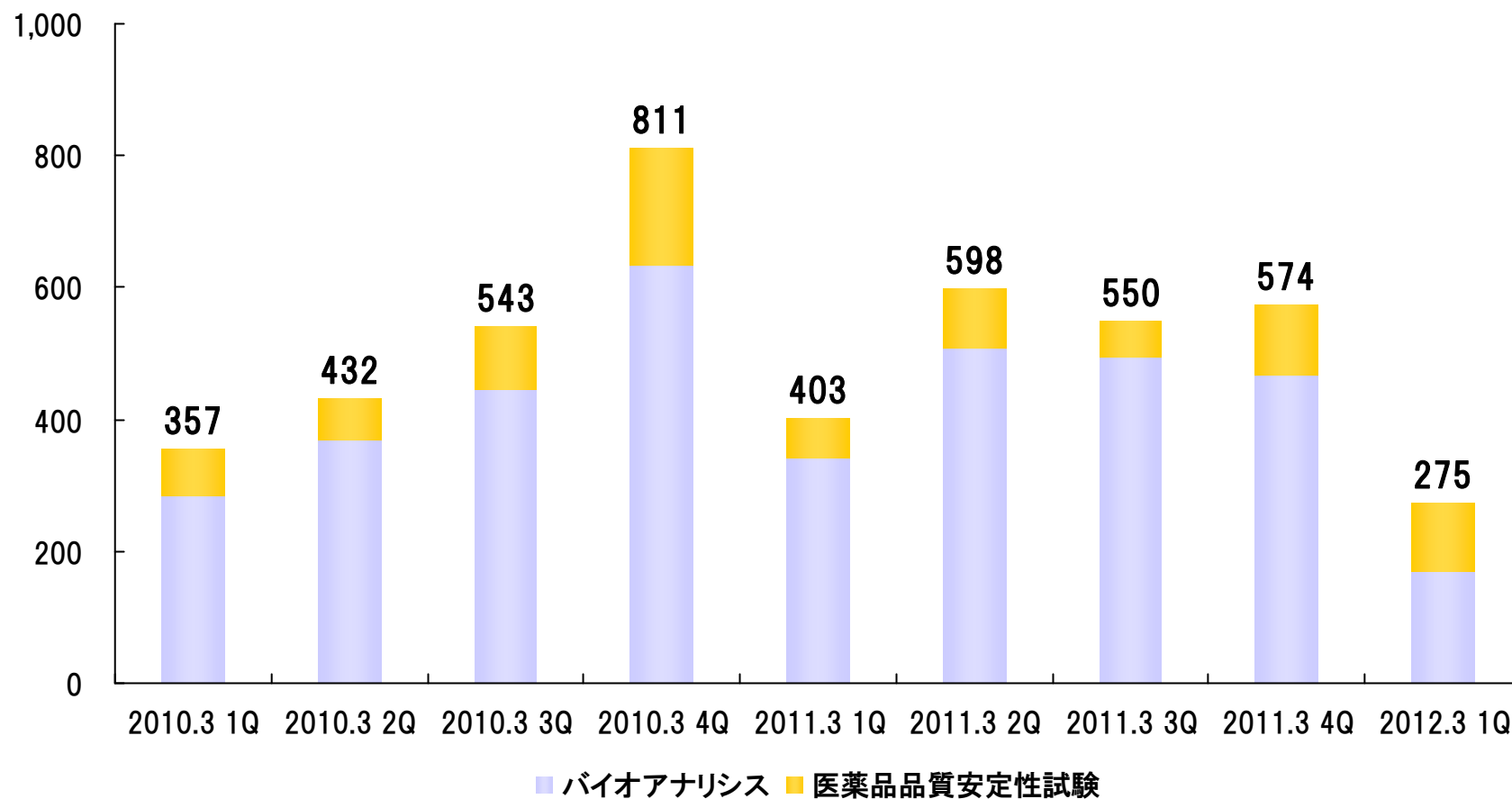
## 売上高の推移



### Point

受注から売上計上までに平均7ヶ月を要する  
完成基準を採用しているため、3ヶ月ごとの売上に凸凹が生じる

(単位:百万円)





# 損益計算書／前年同期比



## Point

単体・連結ともに減収減益

終了試験が少なかった(完成基準)こと、及び米国ラボへの先行投資による

(単位:百万円)

	2012年3月期第1四半期		2011年3月期第1四半期		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>連結</b>					
売上高	275	100.0%	403	100.0%	-31.8%
売上総利益	▲45	-16.4%	137	34.0%	-
営業利益	▲195	-71.1%	4	1.2%	-
経常利益	▲224	-81.6%	▲101	-25.2%	-
四半期純利益	▲173	-63.0%	▲112	-27.9%	-
<b>単体</b>					
売上高	275	100.0%	403	100.0%	-31.8%
売上総利益	0	0.2%	137	34.0%	-99.6%
営業利益	▲125	-45.6%	4	1.2%	-
経常利益	▲129	-46.9%	1	0.4%	-
四半期純利益	▲147	-53.5%	▲9	-2.3%	-



# 連結貸借対照表



## Point

米国ラボへの先行投資を計画通りに実施

(単位:百万円)

	2011年6月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
資産	3,964	3,866	+97	+2.5%	
流動資産	1,560	1,569	-9	-0.6%	現預金の減少 122百万円 建設仮勘定の増加 164百万円
固定資産	2,396	2,289	+107	+4.7%	
繰延資産	7	7	-0	-4.4%	
負債	3,161	2,862	+299	+10.5%	
流動負債	1,404	1,308	+95	+7.3%	長期借入金の増加 266百万円
固定負債	1,757	1,553	+203	+13.1%	
純資産	802	1,004	-201	-20.0%	
1株当たり純資産	242.88円	303.74円	-60.86円	-20.0%	
自己資本比率	20.3%	26.0%	-	-	



# 現預金・有利子負債の状況



Point

米国ラボへの先行投資に向けた長期借入金の増加

(単位:百万円)

	2011年6月末	2011年3月末	増減額	増減率	主要因
有利子負債(短期)	919	867	+51	+6.0%	長期借入金の増加
有利子負債(長期)	1,586	1,389	+196	+14.1%	
有利子負債・合計	2,505	2,257	+247	+11.0%	
現金及び現金同等物の(四半)期末残高	725	847	-122	-14.4%	米国ラボへの先行投資

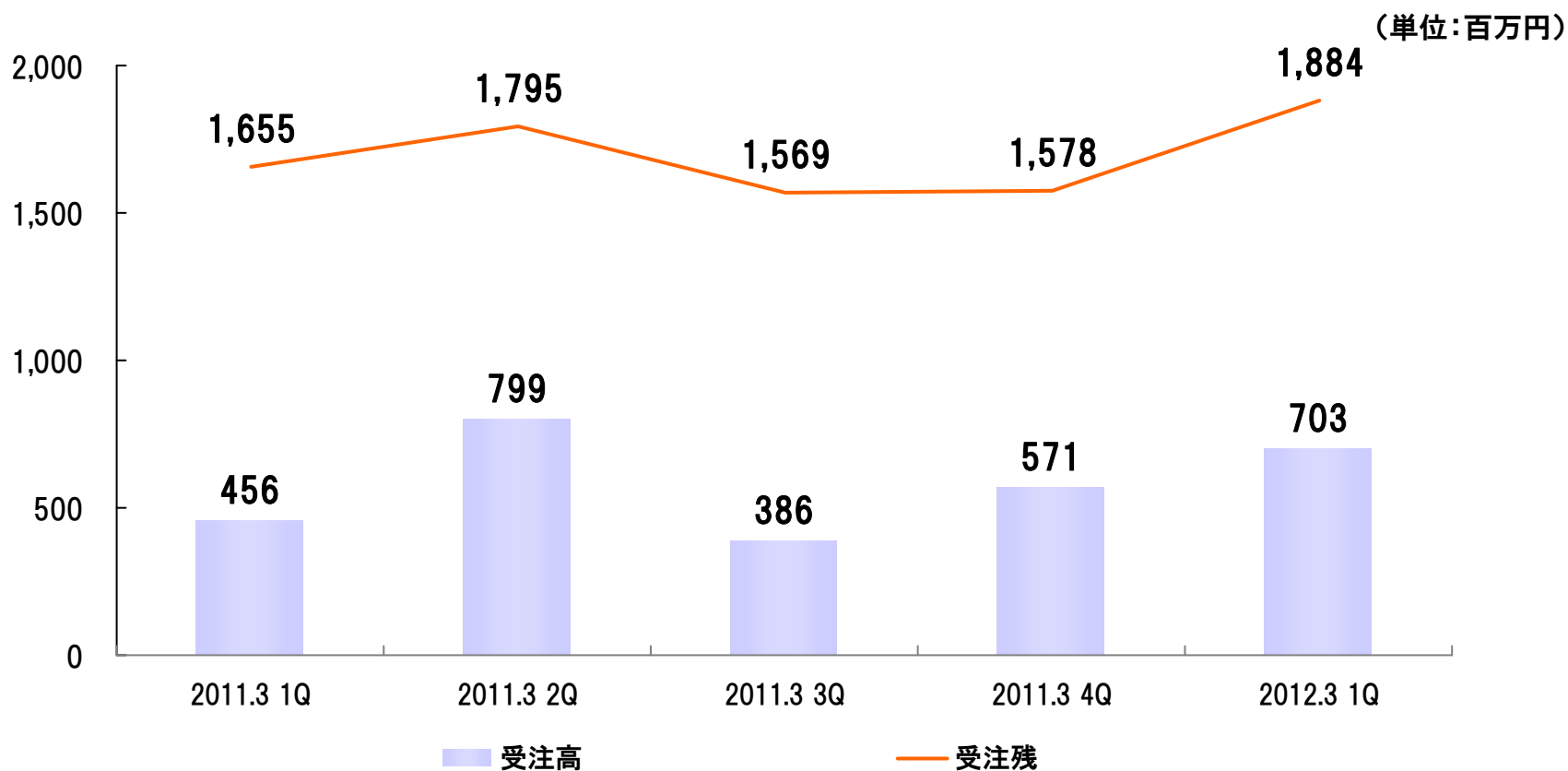


## 受注高・受注残の推移（国内）



Point

受注獲得は堅調に推移



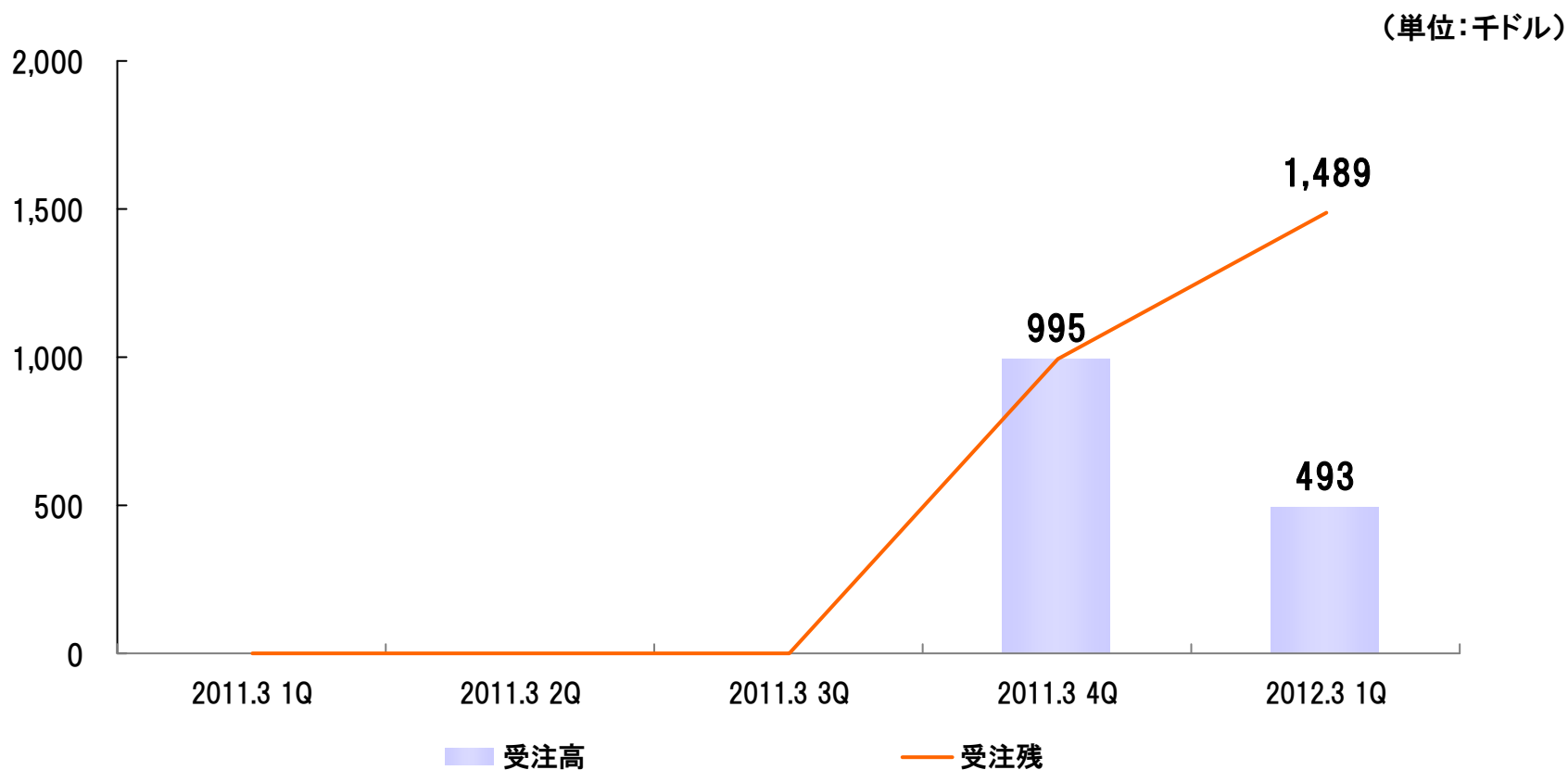


## 受注高・受注残の推移（米国）



Point

2011年2月の初受注獲得以後、堅調に推移

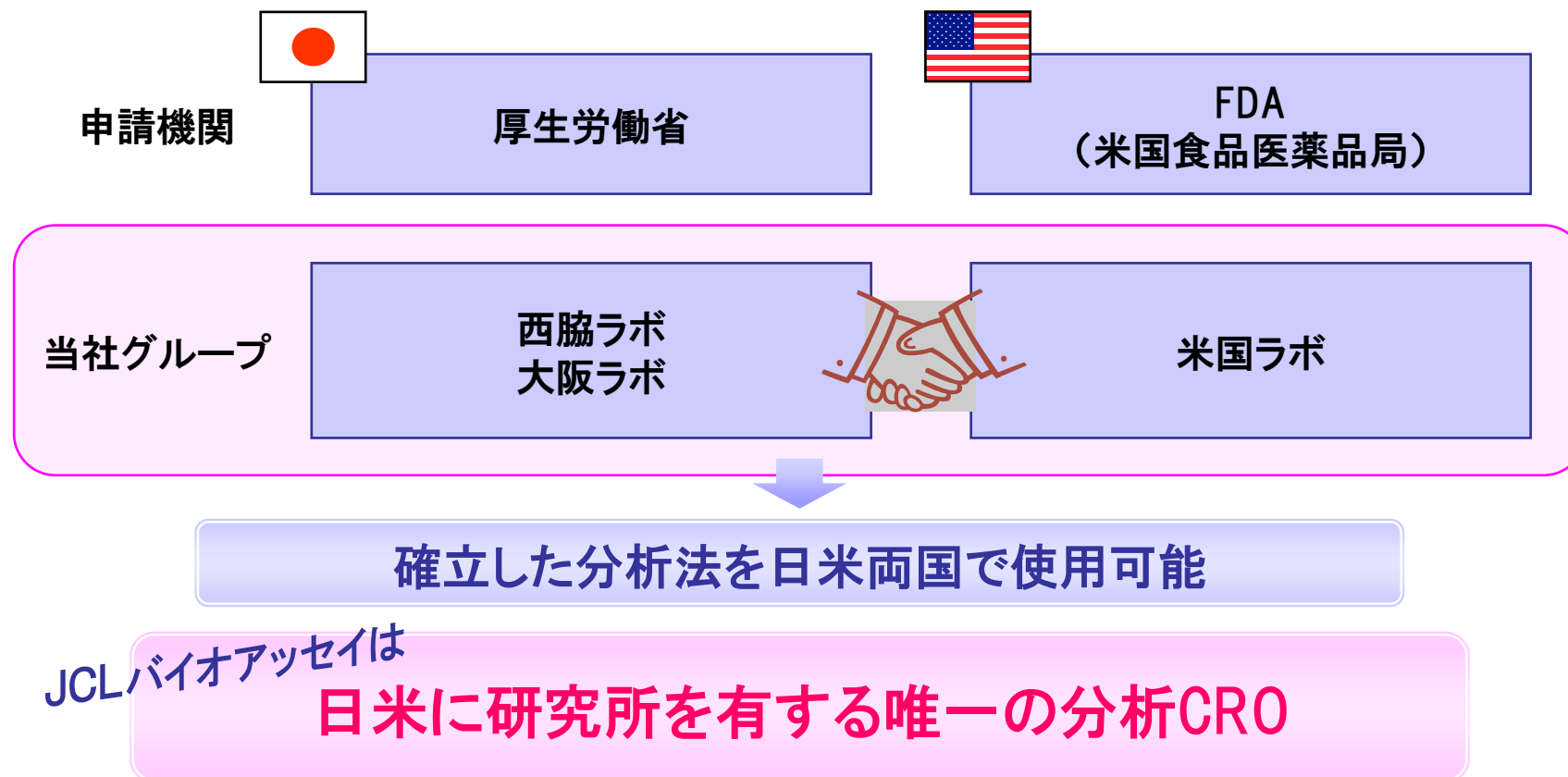




# 受注拡大戦略①

## ① グループシナジーを活用した営業活動を開始

製薬会社の新薬開発は多くの場合日米両国で承認申請を行う





## 受注拡大戦略②

### ② 営業力の強化による販路拡大

2011年6月、横浜オフィスを開設



営業活動の範囲拡大  
関西中心から全国へ

営業担当者を2倍に増員



新規開拓、既存顧客との関係強化

### ③ 新試験項目の受託へ向けた取り組みを開始



# 新試験項目の受託へ向けた取り組み①

## 製薬会社の新薬開発の動向

低分子医薬品に続き、バイオ医薬品を含む高分子医薬品に注目

### バイオ医薬品とは

生物等が営む生命現象や生体機能を利用した技術によって生産された医薬品

バイオテクノロジー

+

医薬品

バイオ医薬品

#### ex.1) 抗体医薬品

異物から体を守るために働くタンパク質の一種である抗体を主成分とした医薬品。

#### ex.2) 核酸医薬品

遺伝子の構成成分である核酸(DNA等)を構造の一部に持つ医薬品。

低分子医薬品より分子量が非常に大きいため、今までの技術では分析が困難



## 新試験項目の受託へ向けた取り組み②

### 抗体医薬品

最新機器を設置し、受託準備完了

2011年7月 営業開始

ELISA



ECL



### 核酸医薬品

当社の得意分野であるLC-MS/MSを用いた分析技術開発に取り組む

**定量分析 ... 2011年6月 学会発表を行い、大きな反響を呼ぶ**

6/6 米国コロラド州 59th ASMS Conference

6/17 京都 16th Annual Meeting of the RNA Society

**定性分析 ... 2011年4月 特許出願**

特願2011-83205 オリゴヌクレオチドの配列決定法



## 本資料に関するお問い合わせ先



株式会社 **JCL バイオアッセイ**

経営企画室

TEL:06-4863-5020

FAX:06-4863-5021

ホームページ:<http://www.jclbio.com>

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。